

～ウィズもろやま7・8月の催し物～

熱中症・冷房冷え対策ヨガ

整体師でもあるヨガ講師による「心・体コンディショニングヨガ」。

身体を程よく動かし、汗をかいて体内の熱を発散、冷やす、体温調整ができる体づくりを目指します。

▶日時 7月3日(月)、12日(水)、24日(月)、26日(水)
午前10時～11時30分

▶場所 ウィズもろやま会議室

▶対象 18歳以上 ▶定員 各回20人(先着順)

▶講師 佐成千佳さん

▶料金 1,500円(1回あたり)

▶持ち物 タオル、水分、動きやすい服装、ヨガマット(レンタルあり)

ダンボール迷路で遊ぼう

巨大なダンボール迷路に挑戦します。小物入れや貯金箱などのダンボールクラフトも楽しめます。

▶日時 7月22日(土)、23日(日)

①午前10時から、②午前11時から、③午後1時から、
④午後2時から、⑤午後3時から

※各回50分です。

▶場所 ウィズもろやま会議室

▶対象 小学生以下 ▶定員 各回3組

▶料金 350円(ダンボールクラフト1個付き)

魚釣りゲームをつくろう

浮沈子ひんしんしの原理を利用して、海のイメージの楽しい釣りゲームを作ります。

▶日時 7月26日(水)

①午前11時～正午、②午後1時～2時

▶場所 ウィズもろやま会議室

▶対象 小学生以下 ▶定員 各回8人(先着順)

▶料金 800円

フルーツとピアノによるサマーコンサート

クラシック、夏の日本歌曲など、耳なじみのある名曲の数々をフルーツとピアノで演奏します。曲目はアルルの女より「メヌエット」、リトルマーメイドより「パート・オブ・ユア・ワールド」などです。

▶日時 7月29日(土)

午後2時から(開場/午後1時30分)

▶場所 ウィズもろやまホール

▶対象 6歳以上(未就学児は入場不可)

▶演奏者 尾島由歌里さん(フルーツ)

小川雄大さん(ピアノ)

▶料金 500円

浴衣に似合う和のアクセサリーを作ろう

お花のつまみ細工で髪飾りやコサージュを作ります。

▶日時 8月2日(水)

①午前11時から、②午前11時30分から、
③午後1時から、④午後1時30分から

▶場所 ウィズもろやま会議室

▶定員 各回4人(先着順)

▶料金 1個/450円 2個/800円

木の葉の化石発掘体験

化石の原石をハンマーで割って、木の葉の化石を探します。

▶日時 8月5日(土)

①午前11時～正午、②午後1時～2時

▶場所 ウィズもろやま会議室

▶対象 小学生 ▶定員 各回10人(先着順)

▶料金 1,100円(原石3ブロック付き)

【共通事項】

▶申込み それぞれの開催日前日までに、ウィズもろやまにお申し込みください。

▶問合せ ウィズもろやま ☎295-3111

町の無料相談

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更・中止となる可能性があります。

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	7/11(火)、7/24(月) 8/8(火)、8/28(月)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313 (要予約)
	行政書士	7/19(水)、8/16(水)	10:00~15:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313
人権・行政相談	7/13(木)、8/10(木)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313	
成人健康相談	7/4(火)	10:00~11:00	保健センター	保健センター ☎294-5511	
	8/2(水)	10:00~11:00	役場1階町民ホール		
電話健康相談	平日	9:00~17:00	保健センター ☎294-5511		
育児ほっと相談室	7/26(水)、8/23(水)	10:00~11:00	児童館内子育て支援室	保健センター ☎294-5511	
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00~12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295-2112④126	
子育て相談	平日 ※オンライン相談あり	10:00~15:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎294-4820 (要予約)	
教育相談	平日	10:00~16:30	教育センター ☎295-2525	(電話相談可)	
心配ごと相談	毎月第2・4水曜日	10:00~12:00	社会福祉協議会 (毛呂山町川角303-3)	☎295-0601	
消費生活相談	毎週月・火曜日	10:00~15:00	役場相談室1	役場産業振興課	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30~17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (社会福祉協議会内) ☎080-2274-1445		

歴史散歩

第349回

～毛呂山の昔話
たぬきに化かされた話～

毛呂山町でも近年、キツネはすっかり見なくなりしましたが、たぬきは山間部に限らず平地でも時々見かけることがあります。

キツネと同様、たぬきも人を化かすと言われていました。毛呂山では、たぬきは「ムジナ」という妖怪とほぼ同じものと考えられており、人間にとりついたり、道に迷わせたりすることもあると言われていました。毛呂山に伝わるたぬきの伝承の一部をご紹介します。

①青坊主に化けたたぬき

阿諏訪と鎌北境あたりの山中に若い夫婦が住んでいた。ところが毎夜、杉皮葺きの屋根を獣が爪でひっかく音が聞こえるという。

ある日の夕暮れ、夕飯の買い物に奥さんが家を出ると、ふと妙な感じがして顔を上げた。すると目の前に仁王のような青坊主が立ちはだかっていた。2人はしばしにらみあっていたが、いよいよ青坊主が奥さんに近寄ろうとしたとき奥さんが大きな悲鳴をあげた。その声に合わせて近所の家々の犬たちが鳴き始めた。

さすがの青坊主もおじけづき、姿を消すと1匹の古狸がやぶのなかへと逃げ込んでいったという。

②「油屋さん、こんばんは」

明治が大正のころ、油屋を営んでいた市場の祖母の家によくたぬきが遊びに来た。

夜中に作業していると「油屋さん、こんばんは、油屋さん、こんばんは」と呼びながらたぬきが障子を開けて入ってくるという。たぬきは土間のいろりの向こう側にあぐらをかいて座り、暖をとっている。

作業を終えて後始末を始めると、たぬきも静かに帰っていった。家人もそれに慣れてきて、たぬきはたびたび暖まりにきたそうだ。

たぬきの伝承は青坊主に化けて驚かしたり、いろりに暖まりに来たりなど、どこかユーモラスな印象があります。

しかし、ほかにもムジナに取りつかれた話など人間に恐怖を与えるものもあり、妖怪ムジナとしてのたぬきは恐ろしい存在だったようです。たぬきもキツネと同様、身近な動物ですが妖怪とも考えられていたのです。

※青坊主：通常は髪の毛をそったばかりの人の頭を指すが、妖怪の青坊主という場合は大きな人影や僧の姿をしたものが多い。



周辺にたぬきの伝承がある西大久保・市場の鎌倉街道